

平成21年度 国際化拠点整備事業 構想調書 作成・記入要領

平成21年度国際化拠点整備事業の構想の選定のための審査は、各大学から提出される構想調書をもとに行われます。構想調書は、以下の一般的留意事項並びに構想調書の作成・記入方法にしたがって作成してください。

なお、構想調書提出後の差し替えや訂正は認めません。

1. 一般的留意事項について

(1)平成21年度国際化拠点整備事業構想調書は、この作成・記入要領に基づいて作成してください。

(2)採択された構想については、採択理由とともに、構想調書の2頁目及び3頁目を公表する予定です。

(3)構想調書は、以下の書式に合わせて作成してください。

- ・ページ数は、構想調書に[1～2ページ]と記載のある項目やページの追加が認められている項目以外は、1ページで作成してください。なお、[1～2ページ]と記載のある項目において、2ページで作成する場合は、2ページ目に余白ができた場合でも、次の項目は繰り上げずに次ページとしてください。また、ページを追加した場合、該当ページ及びそれ以降のページの中央下のページ番号を実際に合わせてください。
- ・行間を詰めすぎず、わかりやすく記入してください。
- ・設定されている余白の設定を変更しないでください。

用紙サイズ	A4判縦型
文字の大きさ	10.5ポイント(2頁、4頁～17頁は必須とします。)ゴシック、アンダーライン等は適宜可。
色	白黒(カラー不可)
提出部数	片面印刷(印刷原稿用) 1部 両面印刷・穴あけ・のり付け 10部 CD-R(W)(調書等のデータ) 1枚

(4)構想調書は、PDF形式及びWord、Excel形式で提出することとし、PDFファイルは1つのファイルとして作成し、Word、Excelファイルは項目2-(6)-②までをWordファイル、項目3～6をExcelファイルでそれぞれ1つのファイルを作成してください。なお、ファイル名はそれぞれ、「機関番号(大学名)」(例:10000(〇〇大学))とし、CD-R(W)に保存し、提出してください。

2. 平成21年度国際化拠点整備事業構想調書の作成・記入方法について

(1)「大学名」欄には、法人の種別(国立大学法人、学校法人等)は記入せず、大学名のみ記入してください。

(2)「**機関番号**」欄には、科学研究費補助金の申請に使用する機関番号を記入してください。

(3)「**学長名**」欄には、学長の氏名を記入してください。

(4)「**所在地(都道府県)**」欄には、申請する大学の所在地(都道府県)を記入してください。

(5)調書欄外所定箇所に、「**大学名**」をそれぞれ全てのページに記入してください。

(6)「**構想責任者**」欄には、構想の実現に中心的役割を果たすとともに、その実現に責任を持つ「**構想責任者**」の氏名と職名を記入してください。

(7)「**申請経費**」欄について

「**事業規模**」は、各年度8億円を上限額とし、本事業全体の実施計画に基づいて、年度別にそれぞれ記入し、併せて合計額を記入してください(金額は千円単位で記入し、千円未満の端数は切り捨ててください。。「**事業規模**」が上限額を超える場合、審査の対象外となりますので留意してください。また、その内訳として、「**補助金申請額**」及び「**大学負担額**」の金額を年度毎に記入してください。

なお、文部科学省からの補助金による支援は、取組内容等を勘案の上、1件あたり年間4億円が上限となります。

(8)「**平成21年度における他の事業への申請状況**」欄は、「大学教育・学生支援推進事業」の各テーマ、「組織的な大学院教育改革推進プログラム」に申請する教育取組名称、教育プログラム名称を記入し、「**申請件数**」には、各事業における申請件数の合計を記入してください。

なお、「大学教育・学生支援推進事業」のテーマA、「組織的な大学院教育改革推進プログラム」と本事業に対して、3事業合計で3件まで申請することができます。3事業に対して3件を超える申請をした場合、本事業において審査に付されないことがあるので注意してください。

(9)「**拠点連絡担当者**」、「**事務局連絡担当者**」の各欄は、それぞれ本事業の連絡の窓口となる教員等、事務局の連絡担当者について、確実に連絡が取れる連絡先に関し、必要事項を記入してください。

(10)「**国際化拠点の構想の概要**」欄は、公表することを前提とし、「**2. 国際化拠点の構想**」の内容を踏まえ、わかりやすく、簡潔に記入してください。

(11)「**国際化拠点の概念図**」欄についても、公表することを前提に、「**2-(5)拠点構想の達成目標**」に記入した達成目標や、実現に向けた取組計画について、海外、国内のそれぞれにおいて行う取組の関連が分かるように記入し、全体像と特徴がわかるように図示してください。

なお、海外における取組、国内における取組に関して、それぞれ下記の点については必ず明示してください。

【海外における取組】

- ・ 受入重点国における取組(大学に関する情報の提供、迅速な入学手続の取組など)

【国内における取組】

- ・ 英語による授業のみで学位が取得できるコース
- ・ 来日後の留学生に対する支援の取組(生活面、経済面、就学面での支援等)
- ・ 大学間交流協定等による交換留学、日本人学生の海外派遣の取組

- ・ 構想の組織的な実施体制

(12)「1. 留学生への支援、受入体制、海外留学プログラムでの実績」欄には、構想調書に記載している指示にしたがって、留学生の受入や、大学の国際化に関する実績について具体的に記入してください。

(13)「2. 国際化拠点の構想」欄には、構想調書に記載している指示にしたがって、国際化拠点の構想における取組の計画について記入してください。

1) 2-(1)-① については、既に設置している、又は本事業により新たに設置する英語コースの状況について記入してください。なお、本様式には学部2コース、大学院2コースについて記入欄が設定されていますが、これより多い、若しくは少ない場合は、適宜行を追加、削除して記入してください。

※ 「担当教員数」については、上段に当該英語コースの全ての担当教員数を記入し、そのうちの外国人教員の人数を括弧を付して記入してください。また、下段には上段に記入した担当教員数のうちの、当該コースが設置されている学部学科等、研究科専攻等の専任教員である者の人数を記入し、そのうちの外国人教員の人数を、括弧を付して記入してください。

2) 2-(1)-②については、構想調書に記載している指示にある事項について、2-(1)-①に記入した英語コースごとに記入してください。

3) 2-(2)-① の「受入重点国」欄については、重点受入国を2カ国以上記入してください。

また、留学生の受入計画の記入に当たっては、数値を明示するなど具体的に記入してください。その際、現在の各国からの留学生受入の状況と比較し、どの程度の増加を図るのかについて必ず記入してください。また、いつから海外拠点を設置しているか(設置予定か)、及びそこでの取組についても記述してください。なお、4カ国以上の設置計画を記入する場合は、記入欄の行を追加して記入してください。

4) 2-(4)については、日本の大学全体の留学生の受入の促進を図るための海外大学共同利用事務所の整備の計画について、各記入欄に必要事項を記入してください(本事務所は、アジア(インド、ベトナム、フィリピン)、中近東、アフリカ、北米、中南米、中央アジア、ロシア、欧州等の独立行政法人日本学生支援機構の海外事務所が所在する国以外の国又は各大学の拠点事務所が相当数所在する国以外のいずれかの国・地域に設定してください。。「上記の事務所の業務の計画等」欄については、日本の大学全体の留学生の受け入れの促進を図る観点からの取組を具体的に記入してください。なお、4カ国以上の設置計画を記入する場合は、記入欄の行を追加して記入してください。

5) 2-(5) の各欄については、以下の点に留意して記入してください。

① 「留学生受入」の「(A)のうち在留資格が「留学」の者」欄には、各時点における入国管理及び難民認定法別表1に定める「留学」の在留資格を有する者の人数を記入してください。「現状」については、平成20年度5月1日現在の人数を記入してください。(「現状」における「(A)のうち在留資格が「留学」の者」については、「5-(3)大学全体における平成20年度の留学生受入人数とその出身国」の留学生の受入人数の合計及び「6. 大学の構成」における平成20年5月1日現在の大学と大学院の留学生数の合計と一致するようにしてください。)

「平成22年度末」、「平成25年度末」、「平成32年度末」の「留学生数(A)」の欄については、「(A)のうち在留資格が「留学」の者」の欄に記載した人数に、それ以外の短期留学生等の延べ人数(公募要領P4 2.事業の概要 (5)対象とする構想 ⑤達成目標を参照。)も加えた人数を記入してください。

「全学生数」には、各時点における大学全体の在籍者数を記入してください。「現状」については、平成20年5月1日現在の人数を記入してください。(「現状」における「全学生数」については、「6. 大

学の構成」における平成20年5月1日現在の大学と大学院の在籍者数の合計と一致するようにしてください。)

「留学生比率」には、各時点における「留学生(A)」を「全学生(B)」で除し、単位をパーセントとして小数点以下第1位までを記入(小数点以下第2位で四捨五入)してください。

更に、「留学生受入に関して実施する取組の概要」の「現状」には現在の取組の状況、その他についてはそれぞれの時点における達成目標に向けた取組の計画の概要を記入してください。

- ② 「外国人教員」の各事項には、「現状」、「平成22年度末」、「平成25年度末」、「平成32年度末」の各時点における外国人教員の在籍者数(兼任者を含む)を記入してください。「外国人教員比率」は、各時点における「外国人教員数(C)」を「全教員数(D)」で除し、単位をパーセントとして小数点以下第1位までを記入(小数点以下第2位で四捨五入)してください。

なお、「現状」の「外国人教員数」、「全教員数」(兼任者を含む)、「外国人教員比率」については、平成20年度5月1日現在の数値を記入してください。(「5-(5)大学全体における外国人教員数(兼任者を含む)」における外国人教員数の合計、全教員数、外国人教員の比率のそれぞれの数値と一致するようにしてください。)

更に、「外国人教員の配置促進に関して実施する取組の概要」の「現状」には現在の取組の状況、その他についてはそれぞれの時点における達成目標に向けた取組の計画の概要を記入してください。

- ③ 「海外有力大学との連携プログラムの新たな実施」の「現状」には平成20年度における単位互換などの海外有力大学と連携した教育プログラムの実施状況を具体的に記入してください。また、「平成22年度末」、「平成25年度末」、「平成32年度末」の各欄については、各時点における単位互換などの海外有力大学と連携した教育プログラムの新設や充実に係る達成目標を具体的に記入してください。

- ④ 「大学間交流協定等に基づく交換留学の拡大」について、「大学間交流協定等に基づく派遣・受入人数」には「現状」、「平成22年度末」、「平成25年度末」、「平成32年度末」の各時点における数値(延べ人数)を記入してください。

また、「現状」の「【取組状況】」には現在の取組の状況、その他の時点の「【取組計画】」には、それぞれの時点における達成目標に向けた取組の計画の概要を記入してください。

- ⑤ 「日本人教員の海外における教育研究活動への参加促進」の「現状」については平成20年度における状況を記入してください。また、「平成22年度末」、「平成25年度末」、「平成32年度末」の各欄については、各時点における日本人教員の海外における教育研究活動への参加機会の充実に向けた制度や支援方策の充実等の取組と、その参加人数等に関する達成目標を具体的に記入してください。

6) 2-(6)-① については、2-(5)までに記入した各取組に関して各年度に実施する取組の計画について、英語コースの設置、海外拠点の設置などを網羅し、具体的に記入してください。

7) 2-(6)-② については、2-(6)-①までに記入した構想に関連し、国際化拠点整備事業費補助金の補助対象経費以外の大学独自、又は他の事業等より行う留学生宿舍の整備、奨学金の創設、英語コース以外の課程における国際的な教育の展開等の取組について具体的に記入してください。

(14)「3. 支援期間における各経費の明細」欄について

- ・申請できる経費は、当該構想の遂行に必要な経費です。国際化拠点整備事業の目的である大学の国

際化の推進のための使途に限定されます。

- ・「経費区分」欄に、年度毎にそれぞれの経費の支出計画について「平成21年度国際化拠点整備事業公募要領」の「(別添1)経費の使途可能範囲」の区分により、記入してください。それぞれの費目の内訳については、内容がある程度分かるように記入してください。なお、大学負担額を計上している場合は、大学負担額をどの経費に充当するのかを、各経費の備考欄にその旨を明示してください。
- ・年度毎の「合計」欄及び「内訳」欄は、構想調書1頁目の「申請経費」の金額と必ず照合した上で、それぞれ記入してください。一致しない場合は誤ったまま審査に付されることになります。
- ・各区分の項目内容により、必要に応じ、行の追加・削除を行い、記入してください。

(15)「4. 英語コースの開設科目及び担当教員」欄について

1)「4-(1) 学部における英語コースの開設科目」欄について

- ・「2-(1)英語による授業のみで学位が取得できるコースの計画」に記入した本事業により新たに設置する英語コースについて、開設科目を全て記入してください。複数の英語コースを新たに設置する場合には、全てのコースについて作成してください。
- ・複数の年次にまたがる科目がある場合には、1～2年次など適宜欄を設けて記入してください。
- ・「科目区分」欄には、「全学共通基礎科目」「学部基礎科目」「専門科目」「選択必修科目」「選択科目」「他専攻・他研究科開講科目」などの区分を記入してください。
- ・「履修方法及び卒業要件」欄には、各年次の履修科目数、単位数を記入するとともに、それらの計を記入してください。また、学則等に定める卒業要件を併せて記入してください。
- ・原則として、1コースにつき1ページとして作成してください。

2)「4-(2) 学部における英語コースの教員・担当科目一覧」欄について

- ・「4-(1) 学部における英語コースの開設科目」に記入した授業科目を担当する教員毎に作成してください。また、その教員が担当する当該専攻全ての授業科目を記入してください。なお、構想の事業期間中に就任する予定の教員については、「氏名」欄に氏名と併せて就任する予定の年度を記入してください。(例:「平成23年度就任予定」)
- ・「職名」欄には、他大学の教員が授業科目を担当する場合、大学名を併せ記入してください。
- ・「主な教育研究業績」は、当該教員が担当する授業科目に最も関わりの深い代表的なものを記入してください。
- ・「教育歴」欄には、当該教員の大学等における講師、准教授(助教授)、教授等としての大学教育に関する経歴について記入してください。
- ・「海外経験」欄には、海外において通算して1年以上教育研究に従事した者については、「○」を記入してください。
- ・原則として1ページあたりの担当教員数は7名とし、適宜ページを増やしてください。

※ 「4-(3) 大学院における英語コースの開設科目」、「4-(4) 大学院における英語コースの教員・担当科目一覧」については、上記の「4-(1) 学部における英語コースの開設科目」、「4-(2) 学部における英語コースの教員・担当科目一覧」と同様に作成してください。

(16)「5. 大学の状況」について

- ・項目毎に拠点となる大学全体の状況について記入してください。

1)「5-(1) 大学全体における過去3年間(平成18～20年度)の修士・博士の学位授与の平均件数」欄について、「修士」、「博士」の各欄に各年度のそれぞれの授与件数を記入してください。なお、「平均授与件数」欄は数式を入力してあり、小数点以下は四捨五入されます。

2)「5-(2) 大学全体における過去3年間(平成18～20年度)の科学研究費補助金の平均採択件数」欄について、「新規」、「継続」の各欄に研究種目別に各年度のそれぞれの採択件数を記入してください。なお、「平均採択件数」は数式を入力してあり、小数点以下は四捨五入されます。

※ 本事業にいう科学研究費補助金とは、以下の種目を指します。

特別推進研究、特定領域研究、新学術領域研究、基盤研究、萌芽研究、若手研究、学術創成研究費、特別研究促進費

3)「5-(3) 大学全体における平成20年度の留学生受入数とその出身国」欄には、平成20年5月1日現在の留学生(ここにいう「留学生」とは、「出入国管理及び難民認定法」別表1に定める「留学」の在留資格を有する者に限ります。)の受入実績について、国別に整理し、上位10カ国について「出身国」とその「受入数」をそれぞれ記入してください。また、上位10カ国以外の国からの留学生受入実績については、「その他」欄の「出身国」に国名を記入し(該当の国名が多い場合は主な国名を記入後に「等」を付けてください。)、その受入人数の合計を「受入人数」欄に記入してください。なお、「留学生の受入数の合計」欄は数式が入力してあります。

4)「5-(4) 平成20年度の大学間交流協定等による交換留学による日本人学生の派遣人数」欄について、平成20年度の大学間交流協定等による交換留学による日本人学生の派遣人数について、日本人学生の派遣の根拠となる大学間交流協定等の締結大学別に整理し、上位10校について「派遣先大学の所在国」とその「派遣数」をそれぞれ記入してください。また、上位10カ国以外の国からの留学生受入実績については、「その他」欄の「派遣先大学の所在国」に国名のみを記入し、その派遣人数の合計を「派遣人数」欄に記入してください。なお、「派遣人数の合計」欄は数式が入力してあります。

5)「5-(5) 大学全体における外国人教員数(兼任者を含む)」欄には、平成20年5月1日現在の外国人教員の在籍数について、兼任者も含めて、「教授」、「准教授」、「講師」、「助教」の職名別に記入してください。そのうち、当該大学の専任教員となっている者の人数を下段の「うち専任教員数」欄に記入してください。また、「全教員数」欄には、平成20年5月1日現在の当該大学に在籍する全ての教員の人数を記入してください。なお、「合計」、「外国人教員の比率」の各欄は数式が入力してあり、「外国人教員の比率」欄については、小数点以下は四捨五入され、パーセントで表示されます。

6)「5-(6) 大学全体における海外で通算して1年以上教育研究に従事した、または国外で学位を取得した日本人教員(専任)の人数」欄については、平成21年5月1日現在、大学の専任教員のうちでそれぞれに該当する人数を記入してください。

7)「5-(7) 大学が設置している海外拠点数」欄について、平成20年5月1日現在に当該大学が設置している海外拠点(ここにいう「海外拠点」とは、「我が国の大学が教育等の国際交流に資するために海外に設置している教育施設、事務所等であり、主な役割としては、現地における教育の提供、現地の留学生及び研究者受入れに向けたリクルート活動を行うものに限ります。)について、設置している国・都市別に整理し、10都市について必要事項を記入してください。10都市以外に設置している海外拠点については、その拠点数の合計を「その他」の「設置数」欄に記入してください。「海外拠点の設置数の合計」欄は数式が入力してあります。また、「設置年度」欄には、設置年度(複数設置されている場合は全ての設置年

度)を記入してください。

なお、平成20年5月2日以降に設置された海外拠点がある場合は、必要事項を記入するとともに、該当する海外拠点の「主な業務」欄に設置した年月日もあわせて括弧書きしてください。例: (H20. 10. 1)

(17)「6. 大学の構成」について

・平成21年5月1日現在の学部等名、学科等数、収容定員、在籍者数、英語コースの数、平成20年5月1日現在の在籍者数、留学生数、留学生比率について、大学全体の状況を記入してください。なお、学部数が多い等の理由により記入欄が不足する場合は、適宜追加して全学部等について記入してください。

1)「大学」の表については、大学に設置されている学部毎に、各欄に必要な事項、数値を記入してください。なお、「留学生比率」欄は数式が入力しており、小数点以下は四捨五入され、パーセントで表示されます。

※「英語コース」について、「既設」欄には平成21年5月1日現在の、当該学部等に設置されている英語による授業のみで学位が取得できる課程(学科、コース等)の数を記入し、「新設」欄には本事業により新たに設置する英語コースの数を記入してください。

2)「大学院」の表については、大学院に設置されている研究科に関して、各欄に必要な事項、数値を記入してください。なお、研究科の中に「博士課程(一貫制)」、「博士課程(前期)」、「博士課程(後期)」、「修士課程」、「専門職」の複数の種類の専攻が設置されている場合は、それぞれの種類毎に専攻等数を整理して記入してください。その他の各欄については、上記の大学の表と同様に必要な事項、数値を記入してください。また、「留学生比率」欄は数式が入力しており、小数点以下は四捨五入され、パーセントで表示されます。

※「課程」について、記入欄は「博士課程(一貫制)」、「博士課程(前期)」、「博士課程(後期)」、「修士課程」、「専門職」のうち一つを選択するよう設定されています。該当する課程を選択し、その種類に該当する専攻等数を記入してください。

(18)「7. 本事業の推進事務局の指定」について

「公募要領P.5 2. 事業の概要(8)費用④」に記載のとおり、選定された大学のうち1大学を全拠点大学の推進事務局大学と位置づけ、統一して対応すべき事務の調査・支援・実施に当たって頂きますので、希望する・希望しないのいずれかに○を記入してください。